

【令和4年の師走を迎えて】

「町民の皆さまにはつつがなく平穩に年の瀬をお迎えのこと…」とのご挨拶ができにくいのが残念であります。

今年も、コロナウイルスの感染拡大で、不自由と不安に苦しめられた一年となりました。

加えて、ウクライナへの侵攻が続く中で、食料品をはじめとする全ての商品が高騰して、日常生活にも大きな支障をきたしています。

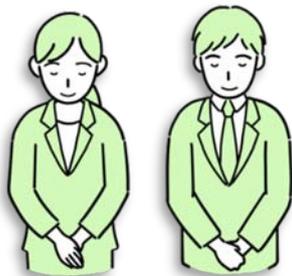
自治会の活動にあっても、ほとんどの催しが実施できず、ふれあい・交流の機会が失われたことで社会的孤立を招き、潤いを感じにくくなっているのではと危惧しています。

コロナウイルス感染対策の一つとして「ソーシャル・ディスタンス（社会的距離）」という言葉で、人と人との距離をあげるように呼びかけられました。しかし、今では身体的な距離は保ちつつも人と人との心のつながりは保つとの意味から、「フィジカル・ディスタンス」という言葉に言い換えられています。

今冬も、オミクロン変異株の「第8波」が猛威を振るうと予想されていますが、「手洗い・マスク・密の回避」など基本的な感染対策を励行しながらも、「フィジカル・ディスタンス（心のつながり）」で社会的孤立を招かないように心がけていきましょう。

徐々にではありますが、人流も戻り従前の生活が戻りつつあります。

来年こそは、何の制限も受けない生活が戻ってきますことを願っています。



今年一年間、自治会の運営にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。
ありがとうございました。